



かわら版 KAWARABAN

第58回全国手話通訳問題研究集会
～サマーフォーラムinきょうと～



＝参＝

2025年8月10日
(速報第12号)

Instagramからも
発信しています！



A～D講座

A体験講座（南コース・北コース）

◇嵐山の散策は「緑」「嵐山」「渡月橋」と京都の手話や各地の手話、歴史を学ぶことができました。

(静岡県 しよこたんママさん)



◇いこいの村の見学で、生活者が「喧嘩するけど手話で話せてうれしい」と話され、参加者が「広めないといけないね。がんばりたい」と呟いていたのが素晴らしかった。
(愛知県 あゆけろりんさん)

B講座 入門



◇ひまわり畑の写真に込めた石橋理事長の思いを強く感じました。「人」としてみな同じ、個々のちがいは個性、大切ですね。

(福島県・M.MさんとA.Kさん)

◇宮澤さんの言葉で「経験は何よりも強い知識になる」が印象的でした。これからも知識を高められるように積極的にいろんな経験をしていこう!!
仲間と一緒に。(愛知県 Kさん)



C講座 人権・福祉



◇久しぶりの参加でした。聴覚障害だけでなく、他の問題も聞けて色々と勉強になりました。
(愛知県 守本健児さん)

平和を祈って

8月9日は長崎に原爆が投下された日です。今年で80年目となります。投下された時間である11時02分頃に、講義・分科会各会場で黙祷を行いました。



D講座 地域づくり



◇「地域づくり」様々な立場で地域と関わり、地域住民と共に取り組んだり、制度がなければ自分たちで作る姿勢や取り組みは、私たちが長年行っているろうあ運動に通じていると思いました。

(香川県 太田裕之さん)

第1～6分科会

第1分科会

「仲間づくりと学習」

◇自分自身、子育てしながら青年部の活動に参加しているので共感できる内容だった。お互いがんばりましょう！！

(広島県 木村さん)

◇N-Actionの報告に対して。地元では若い人が少ないのでうらやましい。興味深い。

(島根県 匿名希望)

第2分科会

「手話通訳者の仕事」

◇コーディネータのあり方について学びました。人をマッチングするだけでなく、多角的な視点を持って取り組める人材が担うべきであるけれど、そのような人をどこが育てるのかと疑問がわきました。

(千葉県 あびこさん)

◇手話通訳派遣について全国的に体制づくりが進めばよいのと思った。きこえない人が安心して生活できるように。

(兵庫県 Y. Eさん)

第3分科会

「手話通訳制度・しくみづくり」

◇「若年層の手話通訳者養成」に取り組んでいる山口県立大学では手話通訳者講座を2020年から始めているが、受講した大学生が、その年の統一試験合格したと聞いて驚いた。

(愛知県 匿名希望)

◇京都全地域で支援センター等が設立されていることが活動の結果となりすごいと思いました。

(山口県 レッドさん)

お抹茶と和菓子～呈茶体験～

8月8日・8月9日に呈茶のコーナーを設けました。

京都らしい和の空間で心癒される時間となりました。

参加券は二日も完売し、「気持ちがりフレッシュできて良かった(奈良県・Satoさん)」など、参加者からも好評のお声をいただきました。



茶道教室紅翠kou - sui

茶話樂美会 社中有志一同様にご協力いただきました



第4分科会

「地域でいきいきと暮らすために」

◇医療班の活動や取り組み、その中で見つかる新たな課題がとても新鮮で防災担当者として組織のつながり方や方法を考えるきっかけをいただきました。

(大分県 松尾巧司さん)

第5分科会

「手話の拡がりを感じる社会に」

◇奈良のお話しは興味深く、来年レポート報告を楽しみにしています。久しぶりの参加です。しっかり学び、交流したいです。

(兵庫県 匿名希望)

第6分科会

「身近な課題を社会の課題に」

◇手話言語条例への各地域の取り組みが分かって勉強になりました。制定後も、取り組んでいく必要があることも分かり、自分の地域に持ち帰りたいと思います。

(奈良県 渡邊さん)

☆参加者数☆

1,333人!!